

平成17年度産業経済労働部当初予算のポイント

当初予算額	73,702百万円	うち一般財源	13,827百万円
(H16当初予算額)	71,358百万円	一般財源	14,180百万円)

赤字記載は予算額

利用者の視点に立った企業支援の実施

ワンストップサービスセンターの機能強化 **4,822 百万円**

- 企業支援業務を産業振興機構に一元化し、きめ細やかな支援を実施。
 (財)あきた産業振興機構
 中小企業支援センター
 マーケティング室
 技術移転促進チーム
 (財)あきた企業活性化センター
 (通称「ACTIVE」)
- 年間1,000社の企業支援を目標に積極的な企業訪問を実施。
- IT事業者と中小企業との交流を図るため、先進IT実践塾を開講。

誘致企業室の新設 **3,575 百万円**

- 企業誘致の強化、誘致済み企業への支援を充実するため新設。
- 企業出身者を企業誘致専門員として東京に配置。

事業承継資金を創設 **融資枠 2 億円**

- 倒産企業の事業を承継する中小企業者への融資制度を創設。

研究成果の円滑な民間移転等のため、研究機関を統合

産業技術総合研究センターを5月に設置 **464 百万円**

- 研究成果の県内企業への円滑な移転などを促進するため、工業技術センターと高度技術研究所を統合し、産業技術総合研究センターを設置。
 新所長は民間企業から招聘し、資源技術開発機構の研究部門も統合。

資源リサイクル分野への取り組みを強化

リサイクル事業への支援を継続実施 **126 百万円**

- 産廃税を財源にリサイクル事業に関する施設整備、研究開発、販売促進などの幅広い取り組みを支援。

エコタウン事業の推進 **11 百万円**

- 秋田北部エコタウン計画の推進、県内8圏域で地域ビジョンを策定。

観光・物産振興の強化

地域が主体となった観光の振興 **36 百万円**

- 自然や歴史、文化、特産品など地域資源を活かした観光地づくりや情報発信を地域を巻き込みながら地域振興局主体で実施

田沢湖スキー場の整備 **1,506 百万円**

- わか杉国体に向けて、リフト、ベースエリアの整備を推進

活き活き物産応援チームの新設 **165 百万円**

- 売れる特産品の開発・改良と全国・海外市場への販路開拓を支援。
- 民間主体の新たな物産振興体制の構築に向けた取組を実施。
- 建設業から他分野への進出を促進するため、支援体制を構築。

企業ニーズに対応した職業能力開発の充実

コールセンター人材の育成 **14 百万円**

- コールセンター人材の育成を図るため、秋田校に養成課程を新設。

大曲技術専門学校開校と鷹巣技術専門学校立替着手 **269 百万円**

- 現大曲校、横手校を統合し大曲校を開校。鷹巣校の立替えに着手。

子育てと仕事の両立支援

子育て世代が働きやすい職場環境づくりの推進 **7 百万円**

- 専門家派遣や手引きの配布により、働きやすい職場環境づくりを推進。

若年者の就労環境の充実

若年者ワンストップセンターの充実強化 **51 百万円**

- 土曜日の開所、カウンセリング体制強化により、若年者ワンストップセンター及び県北、県南のサテライトの機能を更に充実。